



2021年度 サステナビリティ活動

● 2020年度サステナビリティ活動

- SDGsとは
- 脱炭素で循環型の住まいづくり・まちづくり
- 安全安心な住まいづくり・まちづくり
- 少子高齢化社会を支える取り組み
- 生物多様性保全への取り組み
- お客様満足度の向上への取り組み
- 働く環境の整備と働き方改革の推進
- 地域社会等とのコミュニケーション

● サステナビリティマネジメント

- サステナビリティ課題のレビュー
- サステナビリティ重要課題
- サステナビリティ指標実績（2018～2020年度）
- 2020年度の主な外部評価

● 環境への取り組み

- 環境マネジメントシステム
- マテリアル&エネルギーフロー
- スコープ1、2、3
- 工場パフォーマンス

2021年度サステナビリティ活動

SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs）とは、

2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17の目標・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。

SDGsは発展途上国のみならず、

先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



私たちミサワホームグループは「住まいを通じて生涯のおつきあい」という精神のもと、
住まい・まちづくりはもとより、企業活動全般において持続可能な社会の構築を目指し、
7つのサステナブル活動を通して国連の推進するSDGsの達成に貢献できるよう努めてまいります。

脱炭素で循環型の住まいづくり・まちづくり

脱炭素社会の実現に向けてハウスメーカーの役割は大きいと考えています。自然の力を有効利用した省エネ・創エネ技術を開発し、ライフサイクルCO2マイナスの住まいづくりを推進します。

SDGsとの関連



背景

2015年に国際社会が合意した気候変動に関するパリ協定は、世界の平均気温上昇を工業化以前よりも2℃高い水準を十分に下回るものに抑え、並びに1.5℃高い水準に近づけるための努力を継続することを明記しました。そして、今世紀後半に、温室効果ガスの人為的な発生源による排出量と森林等の吸収源による除去量との間の均衡（カーボンニュートラル）の達成を目指すとしています。

これを受け、日本政府は2020年10月、「2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言しました。日本における最終エネルギー消費の約3割を占める民生部門（業務・家庭部門）におけるCO2排出量には、住宅・建築物のあり方が大きく影響するため、住宅業界によるハード・ソフト両面の取り組みへの期待・要請が高まっています。

住宅分野の有力な業界団体であり、環境保全にも活発な（一社）住宅生産団体連合会は、「省エネルギーの深堀り」と「再生可能エネルギーの導入拡大」という方向性を示し、ZEH（ゼロエネルギーハウス）やLCCM（ライフサイクルカーボンマイナス）住宅の普及に向けた課題解決に取り組むなど、脱炭素への動きを主導しています。

日本の中長期目標

期間	温室効果ガス削減目標 (2013年度比)
～2030年度	46%削減
～2050年度	カーボンニュートラル

2020年度の主な活動と実績

「蒸暑地サステナブルアーキテクチャー」DIAを受賞

ミサワホーム総合研究所と沖縄科学技術大学院大学（OIST）は、2015年に締結した共同研究契約に基づき研究を重ねてきた地域・コミュニティプロジェクト「蒸暑地サステナブルアーキテクチャー」にて、中国の国際デザイン賞であるDIA（Design Intelligence Award）に選定され、さらにその中から選ばれる上位賞「Young Talents Award」を受賞しました。※ソニーコンピュータサイエンス研究所を加えた3者での共同受賞

[ニュースリリースはこちらから](#)



売上高当たりの
CO2排出量

174.4
t-CO2/億円

(2015年度比 ▲49.3%)

ZEH供給率

42%

北海道を除く戸建住宅

棟当たりCO2排出量
(居住段階)

4.49
t-CO2/棟

(2015年度比 ▲25.5%)

M-Wood2により
リサイクルされた
廃プラスチックの量

946t

安全・安心な住まいづくり・まちづくり

自然災害に対して、日常の「備え」、災害時の「守り」、復旧までの「支え」という3つの「SAFETY SOLUTION」により平常時、災害時、災害後のいずれかにも安全・安心な住まいづくり・まちづくりを推進します。

SDGsとの関連



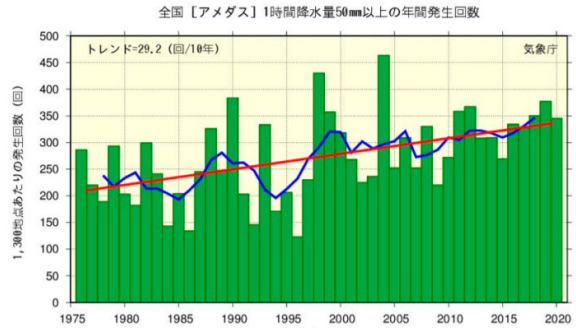
背景

日本は、地理的な条件により、自然災害が発生する頻度が高い国です。近年、その頻度や被害の規模は増加する傾向にあります。例えば、短時間に強い雨が降る回数が年々増えていることは、気象庁のデータからも明らかです。また、災害によって大きな被害を受けた市町村を支援するための制度である災害救助法が、実際にどれほど適用されてきたかを見ても、自然災害が深刻化してきていることが見て取れます。

日本政府（環境省、文部科学省、農林水産省、国土交通省、気象庁）が作成・公開した「気候変動の観測・予測及び影響評価統合レポート2018～日本の気候変動とその影響～」では、世界的な平均気温の上昇が確認される中で、これまでの日本での上昇幅は世界平均より大きいことを報告しています。また、気温上昇の進行に伴い、短時間強雨の発生回数は、21世紀末に向けて増加するとの予測も示しています。

生活者にとって、住まいは自然災害の発生時において最も身近な“拠り所”になります。非日常的な環境下にあっても、住まいが大丈夫であれば、生活の維持や立て直しは比較的容易になります。ミサワホームは、災害に備えた住まいづくりを通じて、生活者に暮らしの安全・安心をお届けするための取り組みを重ねています。

[強い雨（1時間高数量50mm以上）の年間発生件数](#)



（出典）令和3年版防災白書、附-35

災害救助法の適用実績

年	主な災害	適用市町村数
2016（平成28）	平成28年熊本地震	82
	平成28年台風第10号	
2017（平成29）	平成29年7月九州北部豪雨	12
	平成29年台風第21号	
2018（平成30）	平成30年7月豪雨	323
	平成30年北海道胆振東部地震	
2019（令和元）	令和元年台風15号に伴う災害	452
	令和元年台風19号に伴う災害	
2020（令和2）	令和2年7月豪雨	143
	令和3年福島県沖を震源とする地震に伴う災害	

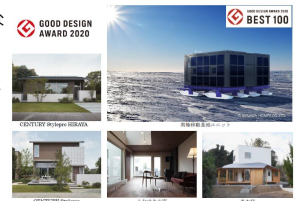
（出典）令和3年版防災白書より整理気候変動の観測・予測及び影響評価統合レポート2018～日本の気候変動とその影響～

2020年度の主な活動と実績

31年連続グッドデザイン賞を受賞

ミサワホームは、2020年度グッドデザイン賞において計5点が受賞し、1990年の初受賞以降、住宅業界唯一の31年連続受賞となりました。住宅商品56点をはじめ、住宅関連部品や個人邸など累計161点の受賞数は住宅業界では最多の実績です。また受賞した5点のうち、「南極移動基地ユニット」は、くらしや産業、社会をさらに推し進め未来を示唆する優れたデザインとして高く評価され、「グッドデザイン・ベスト100」に選ばれました。「グッドデザイン・ベスト100」の選定は2年連続です。

[ニュースリリースはこちらから](#)



過去の地震で倒壊した
ミサワホームの住宅

0^{※1}
件

（2021年7月現在）

MGEOを搭載した
戸建住宅

60,000
棟超

（2021年3月現在）

PRTR対象化学物質の
使用量削減（生産段階）

4.7
g/m²

（2015年度比 ▲76%）

※1 地盤に起因する被害、地震に伴う津波や火災による被害は除く

少子高齢化社会を支える取り組み

家事や子育て、介護負担を軽減する住宅・サービスの提供により、子育て離職ゼロ・介護離職ゼロの社会を目指します。

SDGsとの関連



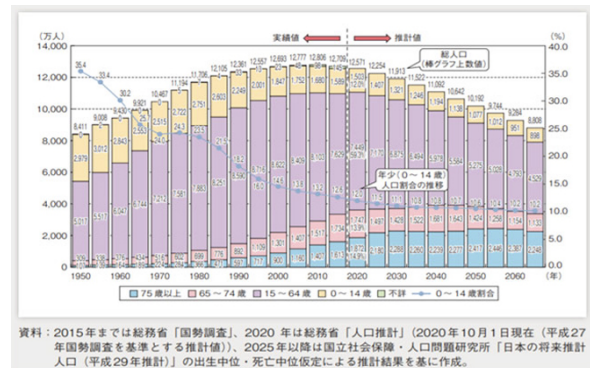
背景

日本の総人口は、2020年10月1日現在、1億2,571万人です。うち65歳以上の人口は3,619万人で、総人口に占める割合（高齢化率）は28.8%となりました。一方、15～64歳の人口は、1995年に8,716万人でピークを迎え、その後、減少に転じ、2020年には7,449万人と総人口の59.3%となりました。出生数は減少を続けており、2019年には86.5万人と90万人を割り込んだことが波紋を広げましたが、2020年はコロナ禍の影響もあり、さらに減少しています。こうした人口動態は、複層的な課題を生んでいます。

まず、少子高齢化がもたらす変化に対応する準備をすることが必要です。今後高齢化率が高まる各地域では、生活機能、医療・福祉機能など、高齢者が安心して暮らすためのまちづくりや都市機能の確保が求められます。これは首都圏も例外ではなく、むしろこうした整備は遅れているのが実情です。ミサワホームは、さまざまな暮らし方を提案しながら、暮らしやすい環境づくりに努めています。

同時に、少子化の傾向へ歯止めをかけていくことが必要です。内閣府が発行する「令和3年版 少子化社会対策白書」では、幅広い切り口から少子化対策のあり方と取り組み状況を紹介しています。ミサワホームも、住まいやまちづくりという観点から、役に立てる可能性を探し、一つずつ実行しています。

日本の人口の推移と見通し



(出典) 内閣府令和3年版少子化対策白書

2020年度の主な活動と実績

複合施設「ASMACHI藤沢」が完成

ミサワホームが門倉組、工匠、三橋設計とともにPFI事業「藤沢市藤が岡二丁目地区再整備事業」により整備を進めてきた複合施設が完成しました。老朽化した保育園・職員住宅・看護師寮を解体、跡地に公共施設と民間施設を複合整備したため、全体の施設名は公募により「藤-teria」に愛称が決定。藤沢市が公共施設を、ミサワホームが民間施設「ASMACHI藤沢」を所有しています。

[ニュースリリースはこちらから](#)



2020年度実績

地域のさまざまな課題を解決するために、これまでの考え方を見直し、新しい価値を生み出すまちづくりが求められています。ミサワホームは高齢者をはじめさまざまな世代が集うまちづくりとして、住居・医療・子育て・商業などの機能を備えた複合施設を推進しています。2020年度は、官民連携で進めていた藤沢市藤が岡二丁目地区再整備事業が完成。小児科・歯科クリニックや薬局、小規模多機能型居宅介護施設等、医療・介護を中心とした民間施設「ASMACHI藤沢」を保有します。更に神戸市長田区において、住宅と病院の複合施設「ASMACHI神戸新長田」が着工しました。

生物多様性保全への取り組み

森林認証を受けた木材の調達や外構・造園における植栽の提案、ミサワホームの森における植林活動などを通じて生物多様性の保全に取り組みます。

SDGsとの関連

12 つくる責任
つかう責任



14 海の豊かさを
守ろう



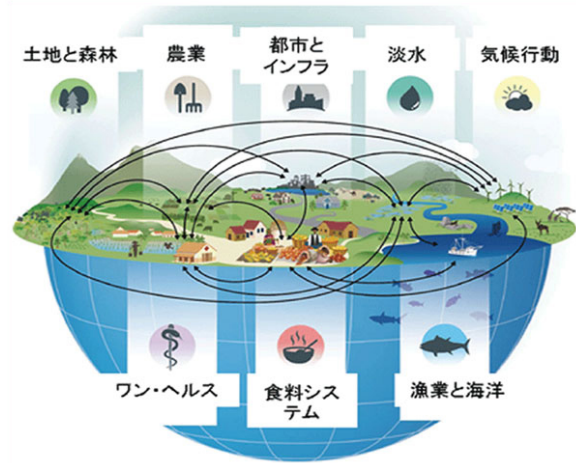
15 陸の豊かさを
守ろう



背景

2020年は、生物多様性の保全と持続可能な利用に関する国際目標である「愛知目標」の最終年でした。しかし、2020年9月に生物多様性条約事務局がまとめたGlobal Biodiversity Outlook5 (GBO5) は、愛知目標のほとんどに進捗はあるものの、達成できたものはないと総括しました。また、これに先立ち、生物多様性及び生態系サービスに関する政府間科学-政策プラットフォーム (IPBES) が公表した「生物多様性と生態系サービスに関する地球規模評価報告書」は、自然の保全と持続可能な管理の取組は進んでいるが不十分であること、生物多様性が人類史上これまでにない速度で減少し、生態系から得られる恵みが世界的に劣化していることを示しました。GBO5では、生物多様性の損失を止め、自然との共生を実現するために移行が必要な8つの分野が特定されました。また、日本における生物多様性・生態系サービスの現状と課題を評価した「生物多様性及び生態系サービスの総合評価報告書2020」では、社会変革のために唯一の解決策となる取組はないものの、ビジネスと生物多様性の好循環を生み出すことや、それを支える教育や価値観の醸成を促進していくことが、生物多様性の損失を止めるための対処全体を底上げする重要なアプローチだと指摘されました。

自然との共生を実現するために移行が必要な8つの分野



出典) 環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書 (令和3年版)

2020年度の主な活動と実績

森林認証を受けた
木材調達比率

85.6%

お客様満足度の向上への取り組み

新築からアフターサービス・メンテナンス、リフォーム、売却・賃貸管理を含む不動産まで、住まいのライフサイクルを通じて、お客さまの暮らしと人生を幅広くサポートしていきます。

SDGsとの関連



背景

「人生100年時代」では、一人ひとりがより多くのライフイベントを経験するようになります。そして、もちろん個人差はあるものの、住まいに対する期待やニーズは、人生のステージを追うごとに変わっていくものです。スペースの使い方を一つ取り上げても、その変化の大きさは著しいものがあります。世の中の動向によっても、住宅に求められることは移り変わります。例えば、コロナ禍は、「自宅で仕事をする」という新しい生活様式を急速に広め、少なくともある程度は快適に勤務できるスペースをどのように確保するか、という課題の解決を各家庭に迫りました。国民運動となっている「働き方改革」も、仕事と家庭の両立を目指す中で、夫婦の家事や子育ての分担が着目され、協力し合うことでよりゆとりのある暮らしを実現するというニーズを生んでいます。IoT・AIなどの新しい技術の登場と普及によって、住宅の可能性は広がり、住宅への期待も膨らんでいます。こうした状況の中でお客様満足度を常に維持し高めていくのは、一筋縄ではいきません。住まいを長期視点で捉え、その使い方を柔軟に調整できるようにすることをはじめ、必要に応じて住み替えることも無理なくできる仕組みを用意することが求められます。ミサワホームは、こうした挑戦に、正面から取り組んでいます。

コロナ禍による居住・社会ニーズの変化



(出典) 一般社団法人 不動産協会 理事長 菟田 正信「ニーズを先取りする未来志向の豊かな住生活の実現」(社会資本整備審議会住宅宅地分科会、参考資料1-2、令和2年5月28日)

2020年度主な活動とお客様満足度実績

「ミサワでんき」で買い取りサービスがスタート

ミサワホームは2016年4月から開始された電力小売り全面自由化に伴い、当社オーナー向けに、住宅メーカー初となる戸建住宅向け電力小売りサービス「ミサワでんき」を開始し、オーナー満足度向上に取り組んできました。さらに2020年5月には、固定価格買取制度(FIT)期間が終了するオーナーに向けた新しいサービスとして、太陽光発電でつくった余剰電力の買取りを行う「電力買取サービス」を追加しました。

ニュースリリースはこちらから



総合

93.5%

建物

95.3%

※お客様満足度調査において5段階評価のうち、「満足」と「まあ満足」の全体に占める比率

働く環境の整備と働き方改革の推進

さまざまな変化に対応しながら持続可能な成長を図るために、すべての社員がいつでも・どこでも・いきいきと働くことができる環境整備や働き方改革を積極的に進め、従業員満足度や生産性の向上を図ります。

SDGsとの関連



背景

職場環境に対する社会的要請は、近年において大幅に拡大し、その期待値も高まってきています。働き手にとっての安全や安心が確保されることを超えて、健康の増進を促すための条件を備えていることが望まれるようになりました。そして、こうした視点から企業経営を改善していくための基準が整備されています。また、多様な属性を持つ働き手が、それぞれにやりがいを感じながら、自らの能力を十分に発揮できるようにするための環境整備も求められています。日本政府のリーダーシップのもとで、国民運動として広く展開されている働き方改革は、その一環としても重要な社会的任務を担っています。さらには、人材の再教育やエンプロイアビリティ※の向上にも、期待が寄せられています。社会生活全般に大きな負荷をもたらしているコロナ禍は、こうした傾向を総じて助長しており、次の時代をもたらす契機ともなっています。こうした幅広い社会的要請を反映した職場環境づくりは、より持続可能で幸福度の高い社会の構築に貢献するとともに、企業としての将来性にもつながることが、世界的な共通認識となっています。ミサワホームは、こうした視点に立ち、一歩先を見据えた包括的な取り組みへ継続的に注力しています。

※エンプロイアビリティは、「労働市場価値を含んだ就業能力、すなわち労働市場における能力評価、能力開発目標の基準となる実践的な就業能力」と定義されています（厚生労働省「エンプロイアビリティの判断基準等に関する調査研究報告書」より）。

政府の働き方改革実行計画の概要

項目1	非正規雇用の処遇改善
項目2	賃金上げと労働生産性向上
項目3	長時間労働の是正
項目4	柔軟な働き方がしやすい環境整備
項目5	病気の治療、子育て・介護等と仕事の両立、障害者就労の推進
項目6	外国人材の受入れ
項目7	女性・若者が活躍しやすい環境整備
項目8	雇用吸収力の高い産業への転職・再就職支援、人材育成、格差を固定化させない教育の充実
項目9	高齢者の就業促進

（出典）内閣官房 働き方改革実現推進室「働き方改革実行計画フォローアップ（概要）」（2021年1月）

2020年度の主な実績

従業員一人当たりの
所定外労働時間数

16.2
時間/月

（ミサワホーム実績）

育児休業取得者率

1.6%

（ミサワホーム実績）

ミサワホームの雇用状況

		ミサワホーム	ミサワホームグループ （※国内のみ）			ミサワホーム	ミサワホームグループ （※国内のみ）	
従業員数	合計	2,327名	8,703名	中途採用者数	30歳未満	男 1名	9名	
	男	1,818名	6,378名		女	0名	24名	
	女	509名	2,325名		30・40歳代	男 0名	29名	
	30歳未満	男	183名		684名	女	0名	25名
		女	100名		499名	50歳以上	男 0名	7名
	30・40歳代	男 880名	3,041名		女 0名	6名		
	50歳以上	男 755名	2,653名	30歳未満	男 23名	86名		
		女 109名	639名	女 14名	68名			
	正社員	男 1,783名	6,250名	年間離職数	30・40歳代	男 24名	112名	
		女 467名	1,863名		女 11名	43名		
	非正規社員	男 35名	129名		50歳以上	男 20名	88名	
		女 42名	319名	女 2名	14名			
新卒採用者数 （2020年4月入社）	男 35名	111名	平均勤続年数	男	19.9年	—		
	女 42名	74名	女	13.9年	—			
				女性従業員比率	19.8%	23.3%		
				女性管理職比率	1.2%	4.1%		
				障がい者雇用率	2.25%	—		
				外国籍従業員雇用率	5人	—		

（2021年3月31日現在）

地域社会とのコミュニケーション

地域・科学・文化・教育などの振興活動、環境保全活動、多発する大規模自然災害の復興支援など、地域社会とのコミュニケーションに積極的に取り組みます。

SDGsとの関連



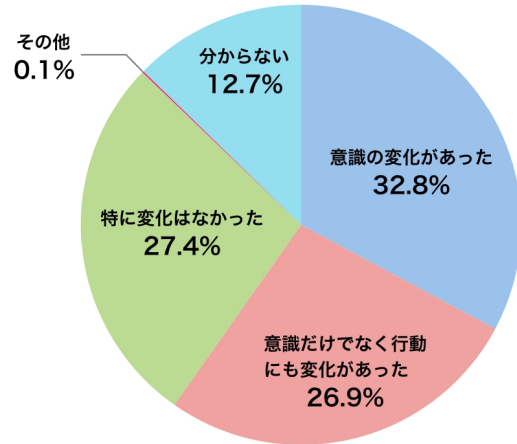
背景

地域社会が直面する課題は、非常に多様であり、その内容は時とともに変化します。課題解決に貢献するには、関連情報を丁寧に収集・分析し、地域社会とのコミュニケーションを取りながら、課題の姿をできるかぎり明確に捉え、効果的なアプローチを設計することが大切になります。

例えば、環境省が公表した2020年度環境教育等促進法基本方針の実施状況調査の結果（2021年5月10日発表）では、環境や社会の問題に対する意識や行動について学ぶ機会に恵まれない生徒が約8割にも達する中で、学校における環境教育が行われた場合、6割近くの生徒の意識や行動を変える効果をもたらしていることがわかりました。その一方で、授業時間の確保が難しいとする学校が約半数にも達することが判明しています。教育現場において役立つ環境教育プログラムを企画するには、こうしたデータを踏まえるとともに、子どもたちに接する立場にある皆様の声から注意深く学ぶことが欠かせません。

ミサワホームは、科学・文化・教育などの振興、環境保全、大規模災害被災地の復興などを中心テーマとして、継続性の高い社会貢献活動に取り組んできました。一つひとつの取り組みにおいて、地域と現場のニーズを汲み上げる努力を続けています。

学びによる行動・意識の変化



（出典）環境省「令和2年度環境教育等促進法基本方針の実施状況調査」一般国民向けアンケート実施結果

2020年度の主な活動と実績

第15回西洋美術振興財団賞「文化振興賞」受賞

ミサワホーム株式会社は、公益財団法人西洋美術振興財団より、「開校100周年きたれ、パウハウス-造形教育の基礎-」展の開催における貢献や長年にわたるパウハウスの作品、資料の収集、調査研究及びそのコレクションの展示公開など、日本における西洋美術研究の振興に寄与した功績が評価され、「学術的に優れた展覧会等の実現に貢献した団体」として第15回西洋美術振興財団賞「文化振興賞」を受賞しました。



ニュースリリースはこちらから

南極地域観測隊
派遣者数

累計 **18** 名

南極クラス
開催校・受講生徒数

109 校
9,376 名

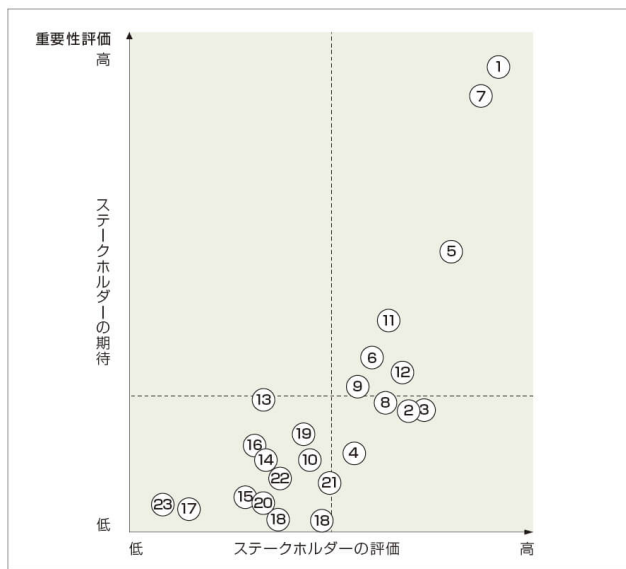
サステナビリティマネジメント

ステークホルダーとのエンゲージメントを通じて重要課題と指標を設定

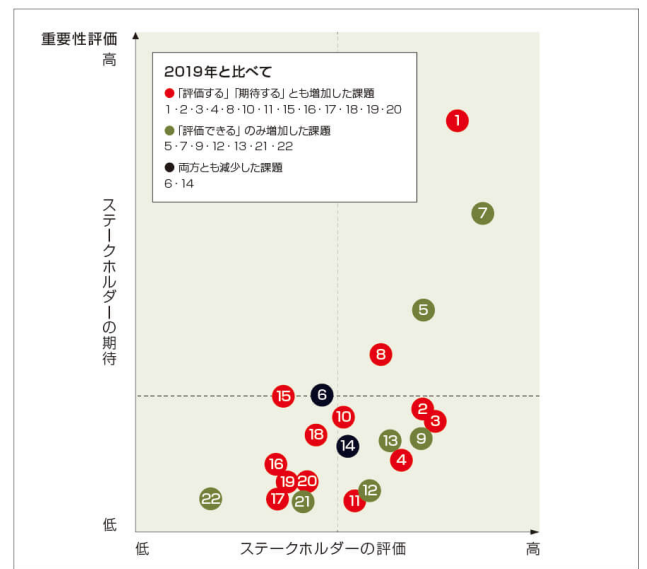
サステナビリティ課題のレビュー

ミサワホームでは、22のサステナビリティ課題に対する各ステークホルダーの期待度と評価を毎年確認しています。2020年は政府が2050年カーボンニュートラルを表明するなど、地球温暖化への対応が注目され、①「ZEHや長期優良住宅など脱炭素で循環型の住宅開発」への期待度がさらに高まりました。

2019年度結果



2020年度結果





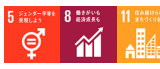


2020年度は、全体的に期待度、評価共に上昇しましたが、中でも地球温暖化の影響が顕在化する状況で、①「ZEHや長期優良住宅など脱炭素で循環型の住宅開発」への期待度がさらに高まりました。

ミサワホームのサステナビリティ課題

環境	①	ZEHや長期優良住宅など脱炭素で循環型の住宅開発
	②	工場、現場におけるゼロエミッション活動
	③	部品・部材の低VOC化、有害化学物質の使用量削減
	④	木材調達ガイドラインによる森林認証材の調達
商品・サービス	⑤	卓越したデザインや技術による良質な住宅やサービスの提供
	⑥	IoTなどの技術革新による新しい価値の創造
	⑦	災害に強い安全・安心な住まいづくり
	⑧	お客様満足度の向上のためのCS活動推進
コンプライアンス	⑨	法令を遵守し、倫理を重んじた誠実な事業活動
	⑩	長期安定的な成長による収益確保
	⑪	経営情報の適切な公表
	⑫	情報セキュリティの強化

コミュニティ	⑬	スマートウェルネス・スマートシティなどのまちづくり
	⑭	医療・介護・子育てへの取り組み
働き方改革	⑮	従業員満足度向上のための活動
	⑯	女性やシニアなど多様な人材の活用
取引先	⑰	研修強化などによる人材育成
	⑱	取引先との公正な関係構築
文化活動	⑲	取引先と協働したサステナビリティ行動
	⑳	芸術・文化・教育・福祉活動などの社会貢献活動
グローバル対応	㉑	海外事業展開における貢献活動
	㉒	世界各国の貧困や紛争解決への取り組み

サステナビリティ重要課題

サステナビリティ重要課題		サステナビリティ重点指標	実績値 (2018年度)	実績値 (2019年度)	実績値 (2020年度)	SDGsとの関連
脱炭素で循環型の 住まいづくり	①	売上高あたりCO2排出量	258.2 t-CO2/億円	209.4 t-CO2/億円	174.4 t-CO2/億円	
		ZEH供給率※1	31%	40%	42%	
	長期優良住宅認定取得率	55.6%	52.5%	54.5%		
	②	新築現場で発生する廃棄物量削減	23.7Kg/m ²	23.1Kg/m ²	23.5Kg/m ²	
安全・安心な 住まいづくり	③	室内空気環境におけるVOC放散量	95.0%	95.0%	95.0%	
	⑥,⑦	MGEO採用率	58%	59.2%	62.6%	
少子超高齢社会 への対応	⑪,⑫	スマートウェルネス・ スマートシティ によるまちづくり	3件	1件	2件	
お客さま満足度の 向上	⑤,⑧	お客様満足度(総合) ※2	93.7%	92.6%	93.5%	
		お客さま満足度(建物) ※2	96.4%	96.1%	95.3%	
働く環境の整備と 働き方改革	⑬,⑭	女性従業員比率	19.8%	20.7%	20.7%	
		一人当たり所定外労働時間数	23.6時間/月	22.0時間/月	16.2時間/月	
		育児休業取得者比率※3	1.9%	2.8%	1.6%	

※1 当社グループが新築する戸建住宅（北海道以外の注文住宅および建売住宅）におけるZEH（NearlyZEHを含む）の占める割合。

※2 お客さま満足度調査において5段階評価のうち、「満足」と「まあ満足」の全体に占める比率。

※3 ミサワホームの実績。

サステナビリティ指標実績（2018～2020年度）

ISO26000中核主題	サステナビリティ指標	2018年度	2019年度	2020年度
人権	ヘルプライン通報件数（社員）	54件※1	45件※1	33件※1
労働慣行	新卒採用者数	100名（246名※1）	70名（219名※1）	71名（185名※1）
	中途採用数（ミサワホームグループは直系ディーラー）	5名（83名※1）	7名（95名※1）	1名（100名※1）
	定年後再雇用者数	47名	33名	40名
	平均勤続年数 男性	19.4年	20.1年	19.9年
	平均勤続年数 女性	13.8年	14.4年	13.9年
	年間離職率	2.5%	2.5%	3.1%
	有給休暇取得率	33.0%	38.8%	35.6%
	★育児休業取得者比率	1.9%	2.8%	1.6%
	介護休業取得者数	0名	1名	1名
	時短措置取得者数	107名	103名	109名
	★従業員一人当たりの所定外労働時間数	23.6時間/月	22時間/月	16.2時間/月
	障害者雇用率	2.05%	2.23%	2.25%
	外国籍従業員雇用者数	4人	4人	5人
	女性管理職比率	1.2%（3.9%※1）	1.2%（3.6%※1）	1.2%（4.1%※1）
	★女性従業員比率	19.8%（22.8%※1）	20.7%（22.1%※1）	19.8%（23.3%※1）
	労災事故発生件数（休業4日以上）	41件	60件	42件
	有資格者数 1級建築士	351名（680名※1）	364名（699名※1）	333名（637名※1）
有資格者数 宅地建物取引士	893名（2062名※1）	910名（2137名※1）	879名（2064名※1）	
有資格者数 1級建築施工管理士	190名（550名※1）	205名（581名※1）	186名（543名※1）	
従業員1人当たりの教育訓練費	27,800円	46,293円	16,404円	
環境	売上高当たりCO2排出量	258.2 t-CO2/億円	209.4 t-CO2/億円	174.4 t-CO2/億円
	居住段階における棟あたりCO2排出量	4.61 t-CO2/棟・年	4.54 t-CO2/棟・年	4.49 t-CO2/棟・年
	既存住宅の省エネリフォームによるCO2排出削減量	2,831 t-CO2/年	2,759 t-CO2/年	2,942 t-CO2/年
	事務所活動におけるCO2排出量	885kg-CO2/人	799kg-CO2/人	795kg-CO2/人
	生産・輸送・建設段階におけるCO2排出量	38.25kg-CO2/m ²	39.46kg-CO2/m ²	36.48kg-CO2/m ²
	森林認証を受けた木材調達率	80.0%	82.0%	85.6%
	工場生産段階で使用するPRTR化学物質質量	20.60 g/m ²	16.07 g/m ²	4.70 g/m ²
公正な事業慣行	コンプライアンス研修参加者数	399名※1	1198名※1	1,349名※1
	個人情報漏洩事故発生件数	9件※1	16件※1	9件※1
	ヘルプライン通報件数（取引先）	0件※1	0件※1	0件※1
	取引先との協業の有無	調達方針会議年2回開催 ※		
消費者課題	★ZEH供給率※2	31%※1	40%※1	42%※1
	★MGEO採用率	58%※1	59.2%※1	62.6%※1
	特許出願件数	25件	59件	43件
	特許取得件数	63件	42件	31件
	研究開発費用	1,473百万円※1	1,495百万円※1	1,443百万円※1
	設計性能評価取得率	60.5%※1	59.4%※1	58.4%※1
	建設性能評価取得率	50.4%※1	50.6%※1	51.7%※1
	★長期優良住宅認定取得率	55.6%※1	52.5%※1	54.5%※1
	Gマーク取得累積件数	151件	156件	161件
	紹介件数（ミサワホームオーナーさま、入居者からの紹介件数）	2,822件※1	3,189件※1	3,214件※1
	ニュースリリース件数	43件	37件	31件
	HP セッション数（年間）	8,998千回※1	9,921千回※1	12,628千回※1
★お客さま満足度（総合）オーナーさまお伺い書で5段階評価のうち、「満足」と「まあ満足」が全体に占める比率	93.7% ※1	92.6% ※1	93.5% ※1	
★お客さま満足度（建物）オーナーさまお伺い書で5段階評価のうち、「満足」と「まあ満足」が全体に占める比率	96.4% ※1	96.1% ※1	95.3% ※1	
コミュニティへの参画およびコミュニティの発展	環境共生住宅棟数	254棟※1	139棟※1	102棟※1
	コールセンター苦情受付率 （コールセンターでの全体受付の中で近隣苦情の占める比率）	0.56% ※1	0.59% ※1	0.46% ※1
	南極クラス」開催校数・受講生徒（児童）数	286校・25,472名※1	272校・23,158名※1	109校・9,376名※1
	★スマートウェルネス・スマートシティによるまちづくり	3件※1	1件※1	1件※1
	業界関連団体への人材派遣（出向含む）数	14名	16名	20名
寄付・募金額	261万円	213万円	123万円	

★サステナビリティ重点指標

※1ミサワホームグループの実績を含む場合。

※2当社グループが新築する戸建住宅（北海道以外の注文住宅および建売住宅）におけるZEH（NearlyZEHを含む）の占める割合。

2020年度の主な外部評価

環境

- 「蒸暑地サステナブルアーキテクチャー」が中国 国際デザイン賞DIA「Young Talents Award」を受賞 [> 詳細](#)



グッドデザイン賞受賞 [> 詳細](#)

GOOD DESIGN AWARD 2020

主催：公益財団法人 日本デザイン振興会

- 産官学連携による宇宙開発技術研究手法「南極移動基地ユニットを用いた研究プラットフォーム」 [> 詳細](#)

※株式会社ミサワホーム総合研究所、国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構、大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立極地研究所との共同受賞

- CENTURY Stylepro HIRAYA [> 詳細](#)

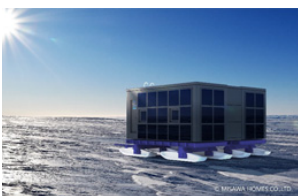
- CENTURY Stylepro [> 詳細](#)

- 個人住宅「こなゆきの家」 [> 詳細](#)

- 個人住宅「森本邸」 [> 詳細](#)

※有限会社一級建築士西沢立衛建築設計事務所との共同受賞

GOOD DESIGN AWARD 2020 BEST 100



南極移動基地ユニット
ユニット2基の連結作業完了後の
イメージです。



CENTURY Stylepro



CENTURY Stylepro HIRAYA

キッズデザイン賞受賞 [> 詳細](#)



KIDS DESIGN AWARD 2020

主催：特定非営利活動法人キッズデザイン協議会

(子どもたちを産み育てやすいデザイン部門)

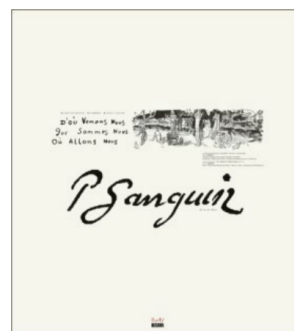
- CENTURY Stylepro [> 詳細](#)
- CENTURY Stylepro HIRAYA [> 詳細](#)

(子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門)

- コピーブリスクールさかい
※ミサワホーム、境町、コピーソシオ、あまね設計の4者共同の受賞
- 保育所における1歳児の「主体的な活動」からみた空間・環境に関する研究
キッズデザイン協議会会長賞受賞 [> 詳細](#)
※ミサワホーム総合研究所、コピーアンドアソシエイツ、コピーソシオ、日本女子大学 定行まり子研究室の4者共同実施の研究・調査

コミュニティ

- 第72回 全国カレンダー展 最高位となる「経済産業大臣賞」を受賞 [> 詳細](#)
主催：一般社団法人日本印刷産業連合会、フジサンケイビジネスアイ
- 2020年 オリコン顧客満足度®調査 戸建てリフォームランキング 全国 第1位 [> 詳細](#)
主催：株式会社oricon ME
- 第15回西洋美術振興財団賞 「文化振興賞」を受賞 [> 詳細](#)



ミサワホーム2021年版
「偉人の生涯と筆跡カレンダー」

商品・技術

- ICTを活用したヘルスケアに関する共同研究が、総務省および欧州委員会Horizon2020との共同研究開発事業に採択 [> 詳細](#)

働く環境の整備

- 「健康経営優良法人2021 ホワイト500」に認定 [> 詳細](#)
健康経営の宣言以降3年連続の受賞



2021
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500

環境への取り組み

環境マネジメントシステム

ミサワホーム株式会社は、ミサワホームグループの環境宣言を受けて策定した「環境方針」に基づき、法規制の遵守・確認や環境に配慮した商品の開発、「ミサワホームの森」への環境保全活動など、さまざまな事業活動を展開しています。また、環境活動対象部門に対し、環境マネジメントシステムの運用状況などについて確認・指導を行い、経営層へ報告を行っています。

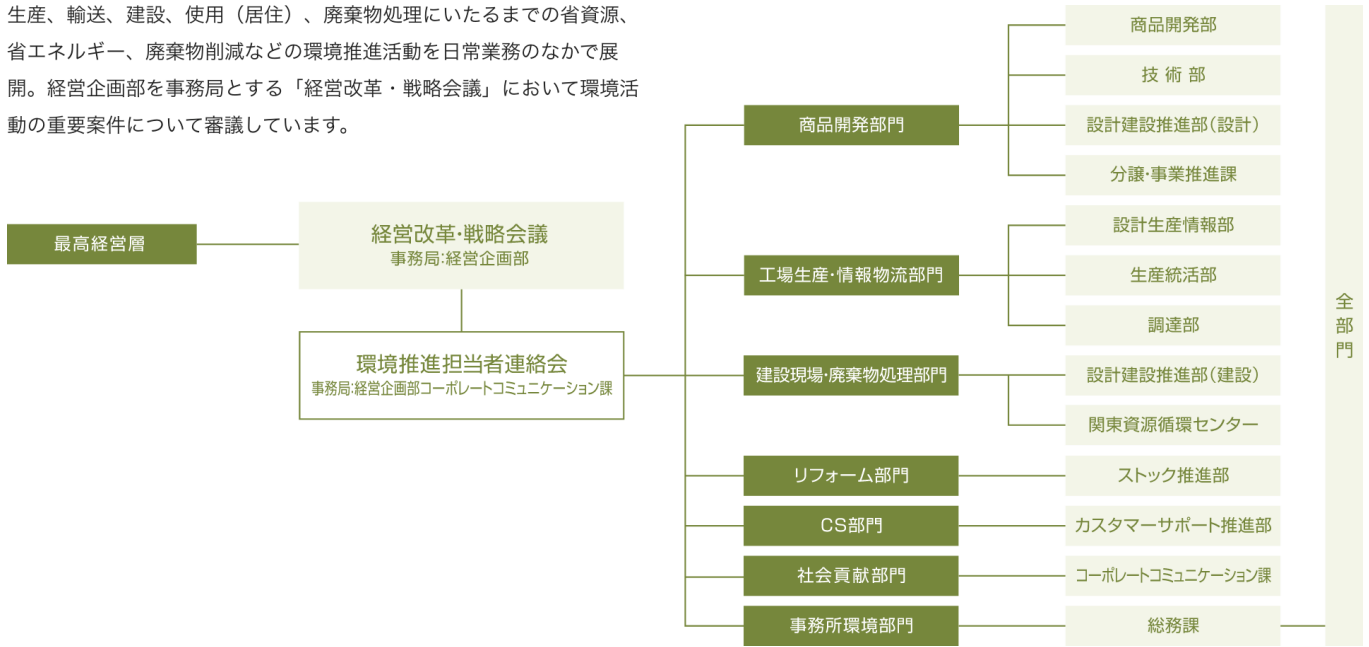
環境方針

ミサワホーム株式会社は、ミサワホームグループの環境理念を踏まえ、事業活動を以下の方針に基づいて行います。

- 1 当社の活動、製品、サービスにかかわる環境影響を的確に把握し、この環境方針達成のため、中期的な環境目的と年度環境目標を設定し、定期的な見直しを行うことで環境管理システムの質の継続的改善を図ります。
- 2 住宅のライフサイクルを通じて、環境に配慮し、安心して快適な住まいと良好な住環境の形成を推進します。
- 3 事業所内活動において、環境負荷の低減を図るため、省資源、省エネルギー、廃棄物の削減に努めます。
- 4 環境関連の法律・規則・協定ならびに自主的に定めた規制や基準を遵守し、環境保全を図ります。
- 5 環境保全、社会貢献などの協働活動の機会を通じて、当社にかかわる方々との環境パートナーシップを強め、広く社会と双方向のコミュニケーションを図ります。
- 6 環境教育を通じて一人ひとりの環境意識の向上を図り、持続可能な社会の実現を目指して社会・地球における環境保全活動を実施していきます。

環境活動の推進体制

生産、輸送、建設、使用（居住）、廃棄物処理にいたるまでの省資源、省エネルギー、廃棄物削減などの環境推進活動を日常業務のなかで展開。経営企画部を事務局とする「経営改革・戦略会議」において環境活動の重要案件について審議しています。



(2021年4月現在)

ISO14001認証取得

1997年、ミサワホーム松本工場が業界初の環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001認証を取得（1997年6月13日）以来、生産工場、関連会社にいたるまで認証取得を行い、現在ミサワホーム生産工場8工場および関連企業1社が取得しています。また、内部・外部監査などを通して事業活動や苦情処理の継続的改善に努めています。

ISO 14001認証取得工場・会社一覧

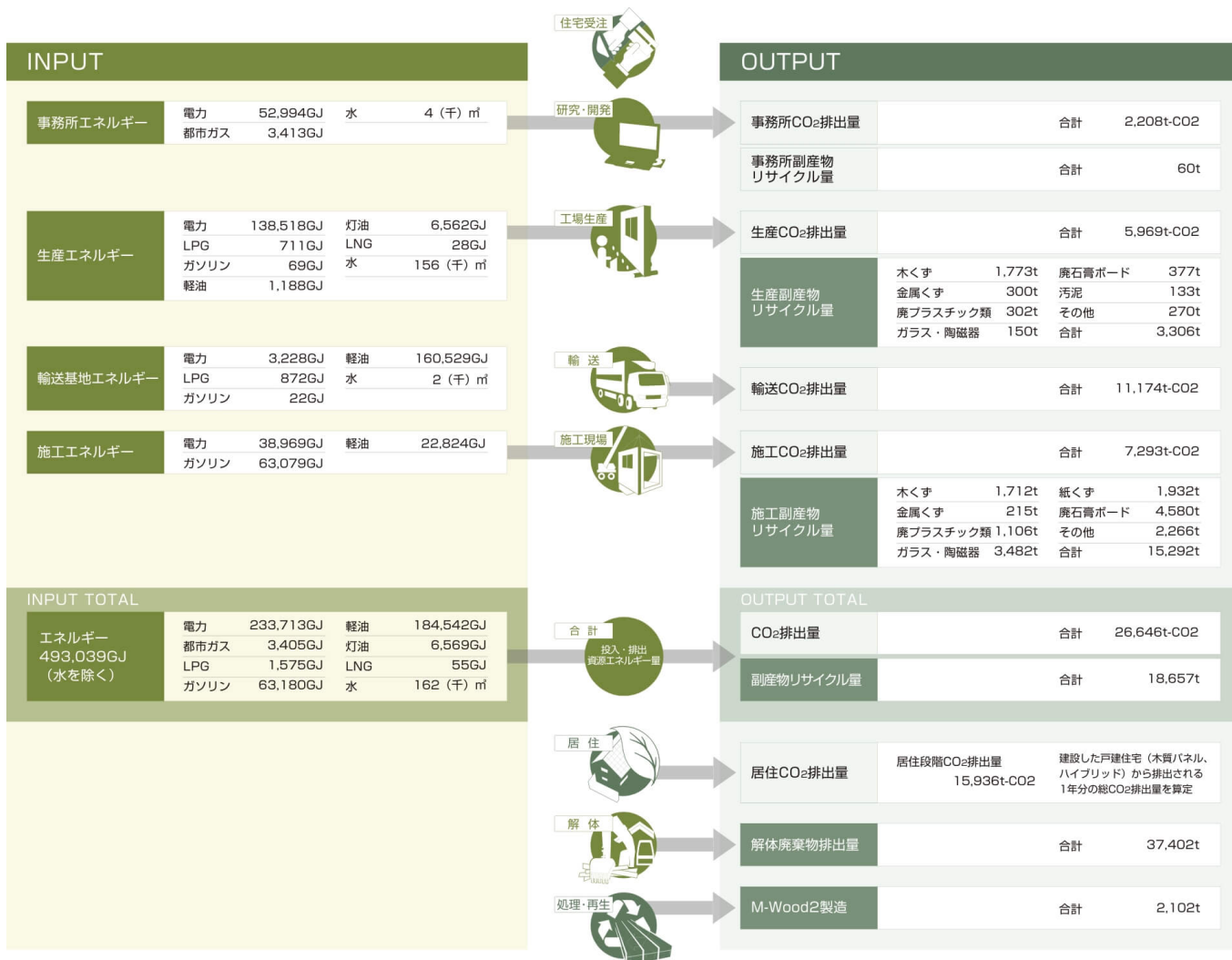
工場(取得年月日)				
木質工場	松本工場 [※]	1997年6月13日	木質工場	
	福岡工場.....	2000年7月1日		
	沼田工場.....	2000年12月1日		
	岩手工場.....	2001年1月1日		
	山梨工場.....	2001年3月24日		
			関連会社	
			名古屋工場 [※]	2001年3月31日
			札幌工場.....	2001年8月23日
			岡山工場.....	2003年5月31日
			ミサワホーム・フィンランド工場.....	1999年4月12日

※木質部品工場

(2021年4月現在)

マテリアル&エネルギーフロー

2020年度事業活動に伴う環境負荷データ



マテリアル&エネルギーフロー算出根拠

	保証対象となる指標		算定基準・算定方法	保証対象となる組織範囲
	INPUT	OUTPUT		
事務所、工場生産、輸送、施工	エネルギー合計	CO ₂ 総排出量※1	エネルギーの使用の合理化に関する法律 地球温暖化対策の推進に関する法律施行令 温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル 【環境省・経済産業省】	事務所：ミサワホーム株式会社 工場生産：木質工場6、木質部品工場2 輸送：車両(特定荷主分)、輸送基地(特定荷物分)、車両・輸送基地など 施行：地域の販売建設子会社など
	電力(GJ)都市ガス(GJ)	CO ₂ 総排出量(t-CO ₂)		
	LPG(GJ)ガソリン(GJ)			
	軽油(GJ)灯油(GJ)			
	LNG(GJ)合計(GJ)水(千m ³)			
		副産物リサイクル量	廃棄物の処理および清掃に関する法律	工場生産：木質工場6、木質部品工場2 施行：地域の販売建設子会社など
		解体廃棄物排出量※2	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律	販売建設会社など
	M-Wood2製造	M-Wood2販売先への納品書に基づき集計	協力工場	

※1 CO₂排出量：各種エネルギーからのCO₂への換算は環境省「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度について（2011年4月）」および「平成22年度の電気事業者ごとの実排出係数・調整後排出係数などの公表について」による。水使用量のCO₂への換算は東京都環境局「地球温暖化対策報告書作成ハンドブック」による。

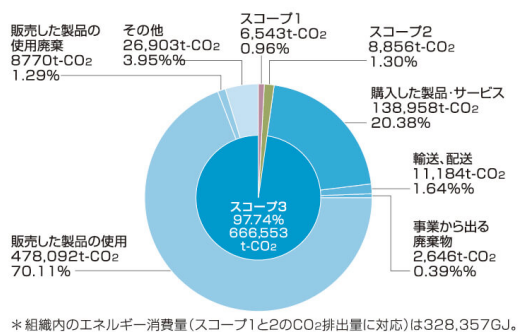
※2 「住宅・土地統計調査」「木造建築物解体工事の現場」（社会法人全国解体工事団体連合会）データによる。

スコープ1、2、3

2020年度スコープ1、2、3におけるCO₂排出量

2020年度も環境省、経済産業省が推奨する「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン」に基づくスコープ1、2、3排出量を開示します。当社はスコープ3排出量のうち、とくに居住時のCO₂排出削減に貢献する、環境に配慮した住宅の販売を推進しています。なお、資材調達・処理再生段階および居住段階は、戸建住宅に起因するものを算定しています。

- スコープ1** ミサワホームグループが使用した燃料に伴うCO₂排出量
- スコープ2** ミサワホームグループが購入した電力などに伴うCO₂排出量
- スコープ3** サプライチェーン全体におけるスコープ1、2以外のCO₂排出量



各データの算出の前提

○集計対象範囲:ミサワホームおよびテクノエフアンドシーと協力工場。施工および解体は販売建設会社などを含む。スコープ3のCO₂排出量は、ミサワホームグループ外データ(原材料など)を含む。

○集計対象期間:原則として2020年度(2020年4月~2021年3月)。データ集計の制限から、一部データは2020年度実績を推計。

開発・設計 (販売会社を 除く)	工場生産	居住段階
資源: OA紙類の購入量 エネルギー・CO ₂ : 本社事務所のエネルギー使用量およびCO ₂ 排出量 廃棄物: 本社の廃棄物	資源:新築住宅の生産に投入した資材量 エネルギー・CO ₂ : 当社8工場が排出した廃棄物 廃棄物: 当社8工場が排出した廃棄物	CO ₂ : 2020年度中に建築した住居の居住時のCO ₂ 排出量推計値(居住年数を30年と仮定)
資材調達 CO ₂ : 新築住宅の生産に投入した資材の生産(日本建築学会LCA指針)に伴うCO ₂ 排出量推計値	施工段階 エネルギー・CO ₂ : 販売建設会社などの施工に伴うエネルギー使用量およびCO ₂ 排出量 廃棄物:新築施工現場から排出された廃棄物	解体・廃棄 CO ₂ : 2020年に供給した住宅が30年後に解体、廃棄される場合のCO ₂ 排出量
輸送段階 エネルギー・CO ₂ : エネルギーの使用の合理化に関する法律に基づく特定荷主分のエネルギー使用量およびCO ₂ 排出量		処理・再生 CO ₂ : 処理廃棄物を使用したリサイクル材製造によるCO ₂ 排出量

工場パフォーマンス

全国生産工場の実績パフォーマンス
(2020年度)

工場名	省エネルギー(地球温暖化防止)				リサイクル
	原油換算(kL)	CO ₂ 排出量(t-CO ₂)	エネルギー	水	再資源化量(t)
沼田工場	1,042	1,591	1,570	21	221
岡山工場	679	1,020	1,008	12	459
福岡工場	356	538	531	7	147
札幌工場	334	605	605	0	592
岩手工場	223	339	336	3	69
山梨工場	352	574	570	4	46
松本工場	399	613	605	8	338
富山工場	146	233	233	0	464
名古屋工場	283	456	440	16	623

全国生産工場の実績パフォーマンス
(2020年度：PRTR届出量)

工場名	PRTR(t)						
	総取扱量	大気	水質	土壌	移動(廃棄物)	消費	リサイクル
沼田工場	23.41	0.32	0.00	0.00	5.52	17.56	0.00
岡山工場	4.71	0.32	0.00	0.00	0.09	4.29	0.00
福岡工場	4.13	0.01	0.00	0.00	0.04	4.08	0.00
札幌工場	1.82	0.06	0.18	0.00	0.03	1.55	0.00
岩手工場	0.99	0.03	0.00	0.00	0.01	0.95	0.00
山梨工場	2.74	0.00	0.11	0.00	0.04	2.58	0.00
松本工場	1.40	0.01	0.00	0.00	0.01	1.39	2.17
富山工場	0.06	0.04	0.00	0.00	0.00	0.02	0.00
名古屋工場	4.90	2.16	0.00	0.00	0.24	2.50	0.00

PRTP調査結果(2020年度：全工場合計)

科学物質	種別ランク	用途	合計						
			総取扱量	排出量・移動量(t)					
				大気	水質	土壌	移動(廃棄物)	消費	リサイクル
グリオキサール	1種	接着剤原材料	15.50	0.00	0.00	0.00	0.16	15.35	0.00
メチレンビス(4,1-フェニレン) = ジイソシアネート	1種	塗料	14.89	0.00	0.00	0.00	0.34	14.57	2.09
塩化第二鉄	1種	排水処理薬剤	5.51	0.00	0.18	0.00	5.32	0.00	0.00
トリエチルアミン	1種	接着剤原材料	2.60	0.00	0.00	0.00	0.03	2.58	0.00
キシレン	1種	塗料 ほか	1.65	1.63	0.00	0.00	0.02	0.00	0.03
ノルマル-ヘキサン	1種	設備保護離型	1.14	0.19	0.00	0.00	0.09	0.86	0.00
エチルベンゼン	1種	塗料 ほか	1.06	1.05	0.00	0.00	0.01	0.00	0.03
酢酸ビニル	1種	接着剤原材料	1.03	0.00	0.00	0.00	0.01	1.02	0.02
トリエチレンテトラミン	1種	役物用接着剤	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.39	0.00
2-(4-エトキシフェニル)-2-メチルプロピル=3-フェノキシベンジルエーテル	1種	防錆防蟻剤	0.13	0.00	0.00	0.00	0.01	0.12	0.00
トルエン	1種	塗料 ほか	0.12	0.08	0.00	0.00	0.00	0.04	0.03
ヒドラジン	1種	ボイラー用清缶	0.12	0.00	0.11	0.00	0.00	0.00	0.00

*小数点第3位以下四捨五入のため、合計額が合わないことがあります。